



武田 正樹 議員
大栄会

問 市内農業の現状は

答 大変厳しい状況

- 問** 農業の担い手、後継者不足の現状の中で、2017年度の「食料・農業・農村白書」が公表された。それを踏まえ、市内農業の現状について問う。
- 答** 販売農家数の推移は、**開発部長**「農林業センサス」**！** 調査年ごとに減少。
- ！** 5年ごとに行う農林業の基礎資料となる統計
- 問** 農業者の高齢化は、
- 答** 高齢化していると考え
- 問** 若手農業者は、
- 答** 減少傾向。
- 問** 農業所得は増加しているか。
- 答** 「食料・農業・農村白書」によると、増加傾向にある。
- 問** 相続未登記農地の面積は。
- 答** 把握していない。
- 問** 登記への指導は、
- 答** 指導はしていないが、案内文書を渡している。
- 問** 農業生産の現状は、
- 答** **農政課長**「農業産出額

は増加している。

問 市内農業の現状は。

答 **市長**「長期にわたる米価の低迷、生産調整の実施、輸入農産物との競争激化をはじめ、農業を取り巻く情勢は厳しさを増す。

食料自給率1%向上のために今すぐ始められること

- ご飯を1日につきもう一口多く食べる
- 国産大豆100%使用の豆腐を月にもう2丁多く食べる
- 国産米粉パンを月にもう6枚多く食べる
- 国産小麦100%使用のうどんを月にもう2玉多く食べる

▲消費者に対する働きかけの一例 農林水産省作成パンフレット「ニッポン食べもの力見つけ隊」より



▲市内の稲刈りの模様

問 農業の将来ビジョンは

答 安定的な農業経営を

問 今後の市内農業は。

答 **市長**「中間管理機構へ60%強が集約される中、担い手農家を守るため、国・県がどう関わるかが重要。ビジョンとしては、生産性の向上、高品質化の促進、環境保全型農業の移行、6次産業化の推進・商品開発などが考えられる。弥富市としてもできる限りの支援をしていく。